

ノラ猫トラブルのない 地域社会をめざして

1 ノラ猫の生態と対策の概要

地域猫活動アドバイザー 石森信雄

プロlogue

ノラ猫、減らしませんか？

猫で癒されている人がいる



猫の被害に頭を抱える人がいる



よくある風景



ウチは
庭がウンだらけ



ウチは
庭の草花が
荒らされて枯れた



ウチの前の道路、
夜中にエサを
バラ撒く人がいる！
臭うし、虫だらけに
なるし、不潔！



何が悪いの？

この子たちは人が捨てた猫の
子孫たちなのよ

かけがえのない命なのよ！
ご飯をあげないと可哀想よ！

はあ？

命とか、そういう話を
しているのではないです
この被害、なんとかして
と言いたいだけです！



2-2-6説 ご存知ですか？

猫が好き



2割

地域全体では
少数派

猫が苦手



2割

地域全体では
少数派

猫は好きでも
嫌いでもない



6割

圧倒的多数
嫌いではないが
被害があれば
黙ってはいない

猫好き以外は
我慢できなくて当然

生活環境被害

- ・大繁殖
- ・ふん尿被害
- ・庭木がダメになった
- ・エサが置きっぱなしで不潔
- ・繁殖期の不快な鳴き声



近隣関係が険悪に

知られているエサやり者が
ターゲットになる

全部私のせいというのは
おかしい！
そもそも、エサやりしなきゃ
可哀想でしょ！

あんたが猫を増やした！
すぐにエサやりを止めろ！

エサやり
(知られている)

エサやり
(こっそり)
フン被害

エサやり
(こっそり)

人間が揉めている間にも
猫は驚異のペースで繁殖する

猫が悪いのではありませんよ 猫はただ本能のままに無邪気に生きているだけ



ノラ猫 減らしませんか？

この子たちが不憫
こんな子たちは
もう生まれないで
ほしい

ノラ猫は嫌だ！
とにかく
いなくなって
ほしい

殺処分とかは良くない
と思うけれど
ノラ猫だらけの
この状況はマズイ



2割



2割



6割

どんな立場の人も

ノラ猫だらけの状態は良くないと思っています

そこが（そこだけが）一致点

ノラ猫対策は動物対策

生態を踏まえて
合理的な対策をしないと
ノラ猫は減りません

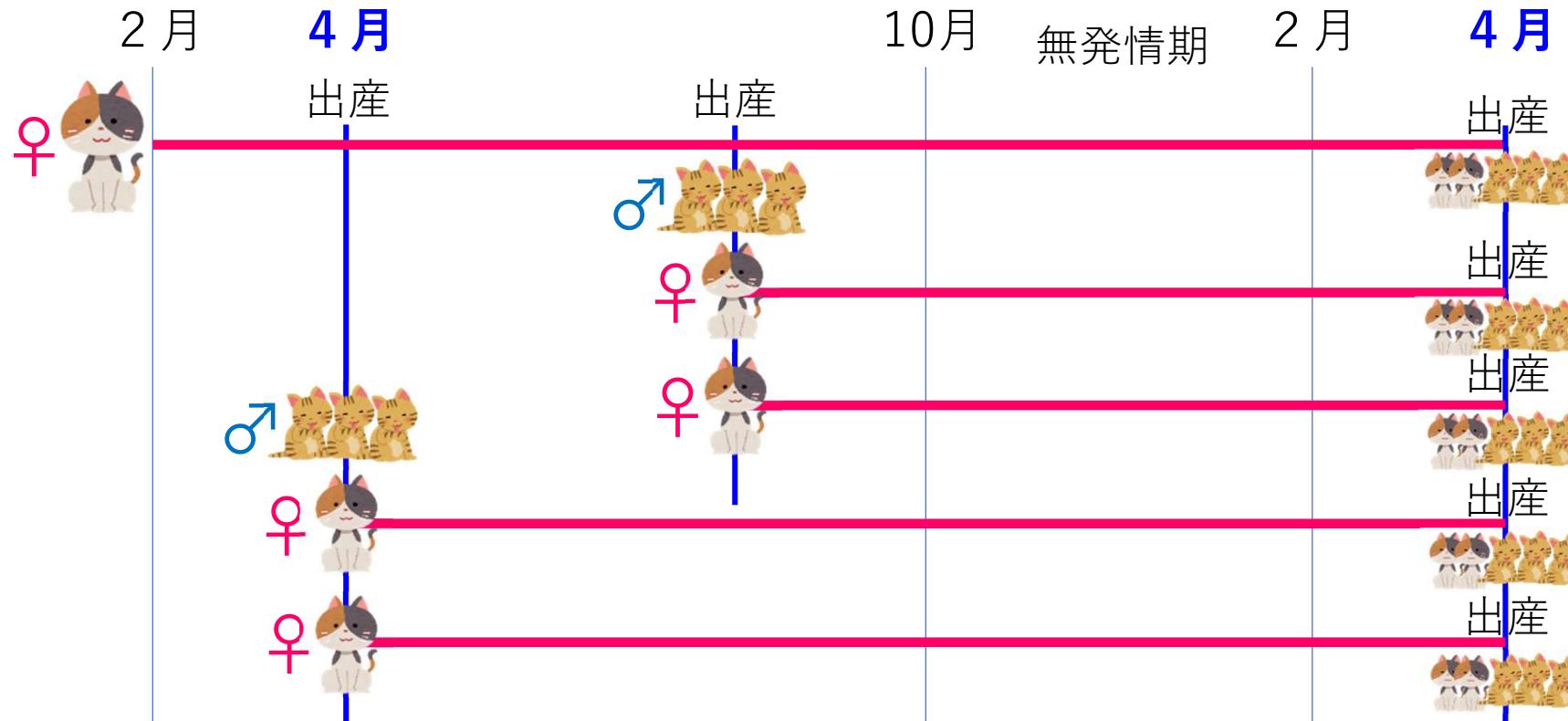


思い込みで対策をしても
無意味・無駄ですよ！

ノラ猫を減らすために
覚えるべき生態 5 つ

① 驚異の繁殖力

発情(1週間)→妊娠(60日)→出産→授乳→発情→妊娠→出産→授乳…
→→→無発情期以外は、このサイクルをひたすら繰り返している



- ※ 子猫は生後4～5か月で性成熟。生後6か月程で出産する個体もいる。
- ※ 上図では少なめに記載したが、実際には、年3回の繁殖も珍しくない。

4月～翌4月の1年で35頭出産。1／3が死亡したとしても12頭の増。

②意外と狭い行動圏

内枠=日常生活圏

外枠=猫コロニーAの狩りのテリトリー



ノラ猫の行動圏から分かること



© OpenStreetMap contributors

実際の地図を元に加工した架空の町です。

③強固なテリトリー意識



実際の地図を元に加工した架空の町です。

④ 食事の習性

Aさん



エサ置き = 18:00
片付け = 猫の食後すぐ
猫は18:00ちょうどに来る

Bさん



エサ置き = 18:00
片付け = 翌朝7:00
猫は気まぐれな時間に
何度も来る

18:30

Dさん



帰宅途中のエサやり = 24:00
片付けはしない
通りがかると、猫が待っている

Cさん



エサ置き = 22:00
片付け = 猫の食後すぐ
猫は22:00ちょうどに来る

6:00

- ・住宅地のノラ猫は、複数のエサ場を巡回する
- ・毎日同じ時間に給餌して片づけると、その時間に来るようになる
- ・常にエサ場を増やそうとしており、一度与えると通ってくる

⑤ 寿命が短い

ノラ猫の寿命は、平均4年～5年

(屋内飼育の飼い猫の寿命は15年～20年)

- ・交通事故（とても多い）
- ・病気（すぐ病気になるが、ノラは誰も病院に連れて行かない）

人間にたとえるなら、ホームレスと同じ
外の暮らしは過酷なので、長生きできない



対策の概要

ノラ猫の生態を踏まえて
合理的に個体数を減らす

- ① 対策は、テリトリー単位で
エリアを決めずにやみくもに対策しても、無意味。
- ② テリトリー内のすべてのノラ猫に
去勢不妊手術
短期間に、一気に手術を進めて、繁殖を止める。
- ③ 手術済の猫にテリトリーを
守らせる
流入猫（未手術）を追い払ってもらうため
手術した猫（特に成猫）は、原則として現場に残す。

④ 適正エサやりで、猫の動向を把握

同じ時間、同じ場所でのエサやりによって、猫の頭数をチェック。新入り猫もすぐ把握でき、手術できる。

エサやりは、元々地域でエサやりしていた人にお願いし、活動者はやらないのが大原則。

⑤ 不適切エサやり（放置エサ）防止

エサを置きっぱなしにすると、臭いにつられて近接地域の未手術猫が流入しやすい。

手術が無駄になる。

猫が増える最大の原因。

不潔なのでトラブルの元。

⑥ フン被害の低減

被害が酷い場合は、猫トイレを作ると安心。

⑦ 猫の飼い主にルールを徹底

手術していない飼い猫が外に出て繁殖行動

→→→ノラ猫発生の最大の原因

- ・去勢不妊手術は当然
- ・首輪と迷子札も当然
- ・愛があるなら屋内飼育（外に出すと短命）

何度もチラシを撒き、飼育ルールを徹底的に周知。
いいかげんな飼い方がしにくく街の雰囲気を作る。

⑧ テリトリー内の住民みんなが、 ①～⑦の対策を知っていること

テリトリー内で、対策方法を知らない人がいると、対策にほころびが出てしまい、うまくいかない。

- ・好き放題にエサを放置する。
- ・手術のための捕獲日にエサを与えてしまう。
(猫を空腹にさせないと捕獲できない)
- ・捕獲のためのエサやりなのに、「迷惑行為だ」と大騒ぎする人がいて、結果、捕獲ができなくなる。
- ・外飼いの飼い主が「ウチの猫が勝手に手術された」と大騒ぎ。

対策方法の周知徹底が、成否を分ける。
「私は聞いてない」が一番マズい。失敗の最大要因。

⑨ ノラ猫は寿命が短いので ①～⑧によって4～5年で激減

流入しないように適正コントロールしていれば、
4～5年でテリトリー内の頭数が半分以下に
なることも多い。

そうすると、苦情は無くなる。

身体の丈夫な個体が10年位生きることがあるが、
頭数が減っていれば、苦情にならない。

通りすがりの猫にエサを与えないよう、地域の皆さん
気を付けていくことが肝心。

具体的な方法は
状況によって色々です

詳しくは[実践編](#)へ